

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常				
事務事業名称	児童遊園整備事業		担当部署	建設部 公園街路課		
総合計画上の位置付け	安心-おもいやりに満ちた福祉社会を築く-子育てしやすい環境をつくる-子育て環境の充実					▼
対象	子育て世代の多くが使用					
手段(方法)	児童の健全育成のため、必要な厚生施設である児童遊園の老朽化・不良化した遊園等を計画に改修する。					
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 3 全部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助金	<input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい)	施設整備を実施し、児童遊園に安全な遊具を設置し、子育て環境の充実を図る。					
実施の必要性(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業)	<input type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業)	<input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	児童福祉法					
その他実施の根拠						
始期・終期	年度	～	年度			
到達目標(根拠数式・数値又は文章)	自治会から要望のあった整備箇所、危険な遊具があると判断された箇所について適切な整備を行う。					
単年度目標(達成状況)	30年度実績	自治会から要望のあった整備箇所、危険な遊具があると判断された箇所について適切な整備を行う。			達成状況	100 %
	元年度実績	自治会から要望のあった整備箇所、危険な遊具があると判断された箇所について適切な整備を行う。			達成状況	100 %
	2年度計画	自治会から要望のあった整備箇所、危険な遊具があると判断された箇所について適切な整備を行う。			達成状況	- %
	2年度実績	自治会から要望のあった整備箇所、危険な遊具があると判断された箇所について適切な整備を行う。			達成状況	100 %
	3年度計画	自治会から要望のあった整備箇所、危険な遊具があると判断された箇所について適切な整備を行う。			達成状況	- %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
施設数		125	125	125	125	125
施設整備遊園地数		7	5	2	8	4
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
施設整備		0	3,304,800	0	0	0
修繕料		2,694,448	1,902,200	2,500,000	2,498,540	2,300,000
遊具点検		1,389,900	1,458,500	1,700,000	1,527,800	1,600,000
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,084,348	6,665,500	4,200,000	4,026,340	3,900,000
直接事業費総額		4,084,348	6,665,500	4,200,000	4,026,340	3,900,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	36	48	48	168	168
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	48	48	48	48	48
人件費総額		1,010,400	1,243,200	1,291,200	3,535,200	3,535,200
総事業費計		5,094,748	7,908,700	5,491,200	7,561,540	7,435,200
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	令和元年度比較して、総事業費は減額となっているが、整備及び修繕内容の違いによるものである。				
	2年度予算と3年度予算の比較	令和2年度比較して、人件費の増額に伴い総事業費は増額となっているが、整備及び修繕内容の違いによるものである。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	管理対象の公園・施設が多く、施設が存在する以上、修繕等が永遠に続くことが課題である。
市民のニーズ・満足度	遊具等の施設改修に関するニーズは多い。
連携事業	児童遊園地管理業務委託
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="text"/> <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value=""/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	施設の点検結果や自治会等の要望を受け、整備の必要性を検討し実施する。
次年度予算への見直し方針	児童遊園遊具点検において危険と判断された施設について、適切な改修を行いたい。
関連部課等との協議状況	
関連部課	子育て支援課
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	市民ニーズは高く、引き続き継続して整備を行っていく。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	3年度の取り組み方針 遊具点検結果及び地元要望等に基づき適切な修繕整備を行う。
	4年度以降の展開方針 遊具点検及び地元要望等を踏まえ、引き続き施設の計画的な改築・更新を行う。
部長の確認所見	施設の改築・更新整備について、地元要望等を適切に反映させること。

1 事務事業の内容 (PLAN)			
事務事業名称	赤穂大橋線街路事業 物件補償外	担当部署	建設部 公園街路課
総合計画上の位置付け	にぎわい-交流基盤を整備する-利便性の高い道路網を構築する-機能的な市内幹線道路の整備		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路「赤穂大橋線・唐船線」の整備(L=803m) ・事業認可期間H18年度～R8年度 		
対象	市民外(赤穂大橋線・唐船線利用者)		
手法(該当番号を記入)	<input type="checkbox"/> 1 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい) 事前評価の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・広域幹線道路網の整備 ・機能的な市内幹線道路の整備 ・交通渋滞の解消 ・生活道路ネットワークの整備 		
成果指標	指 標 内 容	事業着手前(現状)	事業完了後(目標)
	赤穂大橋線・唐船線道路整備率	0%	100%
始期・終期	H18 年度 ~ R8 年度		

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容 A	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
赤穂大橋線・唐船線 L=803m W=16m						
赤穂大橋線 用地測量・地積更正・分筆登記等	R8	1式		1式	1式	1式
赤穂大橋線 物件調査・単価更正外	R8	1式	1式	1式	1式	1式
赤穂大橋線 用地買収	R8	A=383.61㎡		A=264.22㎡	A=264.22㎡	A=375.90㎡
赤穂大橋線 物件補償	R8	3件		1件	1件	3件
赤穂大橋線 道路整備工事等	R8	道路側溝 L=36m	道路側溝 L=190m	道路側溝 L=15m	舗装工 A=62㎡	道路側溝 L=30m
水道工事負担金	R8		L=92m			
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
赤穂大橋線用地測量・地積更正・分筆登記等		6,718,680	0	1,300,000	1,069,200	1,040,800
赤穂大橋線物件調査・単価更正外		5,171,040	2,090,000	2,000,000	1,705,000	4,700,000
赤穂大橋線用地買収		18,165,461	0	13,500,000	0	32,295,588
赤穂大橋線物件補償		59,478,000	0	91,600,000	63,654,000	85,281,000
赤穂大橋線道路整備工事等		2,270,160	74,560,200	3,300,000	687,500	4,600,000
水道工事負担金		0	7,085,880	0	0	0
事務費外		589,368	958,575	1,000,000	785,371	800,000
財源内訳	国県支出金	29,242,000	41,110,000	52,750,000	31,827,000	60,513,000
	地方債	60,400,000	37,200,000	53,300,000	31,100,000	64,000,000
	その他					
	一般財源	2,688,069	6,384,655	6,650,000	4,974,071	4,204,388
直接事業費 総額 B		92,330,069	84,694,655	112,700,000	67,901,071	128,717,388
人件費:人日数	一般職員:人日数	216	156	156	192	192
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	24	24	24	48	48
人件費 総額 C		4,267,200	3,129,600	3,114,000	3,984,000	3,984,000
総事業費計		96,597,269	87,824,255	115,814,000	71,885,071	132,701,388
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	事業進捗に伴う、移転対象者及び工事範囲等の違いにより、減額となっている。				
	2年度予算と3年度予算の比較	事業進捗に伴う、移転対象者及び工事範囲等の違いにより、減額となっている。				

3 事務事業に関する自己診断・一次評価 (CHECK・ACTION)						
細事業又は実施内容	事業費の効率性 B/Aによる事業費の増減 (該当番号を記入)		執行体制の効率性 C/Aによる人件費の増減 (該当番号を記入)		有効性(進捗率)	一次評価(担当者)による評価
用地買収	2	<input type="checkbox"/> 1 減少 <input checked="" type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加	2	<input type="checkbox"/> 1 減少 <input checked="" type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加	100%	用地買収にかかる事業費については、個々の土地の価値が異なるため比較は難しい。
物件補償	2	<input type="checkbox"/> 1 減少 <input checked="" type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加	2	<input type="checkbox"/> 1 減少 <input checked="" type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加	100	物件補償にかかる事業費については、個々の物件の価値が異なるため比較は難しい。
		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		
		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		
		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		
		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		
		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		
今後の方向性	早期に赤穂八幡宮より西の用地買収を進め、第2期事業区間の道路整備完了を目指す。					

4 二次評価 課長の評価 (ACTION)	
今後の方向性	3年度の取り組み方針 第2期事業区間の計画的な用地買収と、建物除却後の側溝整備や安全対策に努める。
	4年度以降の展開方針 第2期事業区間の着実な用地買収に努める。
部長の確認所見	地元まちづくり団体の意見を反映させた施設整備に努めること。交付金の動向に留意すること。

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 47

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	(公園施設整備事業) 都市公園施設整備・維持補修	担当部署	建設部 公園街路課
総合計画上の位置付け	快適・魅力ある都市空間を形成する-水とみどり豊かな都市環境をつくる-公園緑地の充実		
対象	都市公園利用者		
手段(方法)	公園施設整備及び老朽化施設・危険施設の更新		
手法(該当番号を記入)	2 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	市民にとって身近な存在である公園について、憩いの場やレクリエーションの場としての快適で魅力ある空間を形成する。		
実施の必要性 (該当番号を記入)	2 <input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	都市公園法・都市公園条例		
その他実施の根拠			
始期・終期	年度 ~ 年度		
到達目標 (根拠数式・数値又は文章)	公園施設整備及び老朽化施設の更新を行い、魅力ある空間を形成することで都市公園の利用を促進する。		
単年度目標 (達成状況)	30年度実績	地元からの要望箇所、整備・更新の必要箇所について計画的な整備を行う。	達成状況 100 %
	元年度実績	地元からの要望箇所、整備・更新の必要箇所について計画的な整備を行う。	達成状況 100 %
	2年度計画	地元からの要望箇所、整備・更新の必要箇所について計画的な整備を行う。	達成状況 - %
	2年度実績	地元からの要望箇所、整備・更新の必要箇所について計画的な整備を行う。	達成状況 100 %
	3年度計画	地元からの要望箇所、整備・更新の必要箇所について計画的な整備を行う。	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
施設整備・改修		1	1	0	0	2
遊具等修繕箇所数		8	7	2	8	5
利用案内看板設置箇所数		7	2	2	5	2
遊具等購入箇所数		2	0	0	0	0
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
公園台帳システム保守		550,800	594,000	642,000	616,000	650,000
施設整備・改修工事		3,899,880	10,292,400	0	0	8,100,000
遊具等施設等修繕		2,837,228	2,422,828	2,000,000	1,998,788	2,500,000
利用案内看板・遊具等設置		3,106,944	1,790,180	1,958,000	1,948,100	750,000
事務費等		0	228,040	0	0	0
財源内訳	国県支出金	0	52,500	0	0	0
	地方債	0	7,700,000	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	10,394,852	7,574,948	4,600,000	4,562,888	12,000,000
直接事業費 総額		10,394,852	15,327,448	4,600,000	4,562,888	12,000,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	48	60	60	168	168
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	72	72	72	48	48
人件費 総額		1,401,600	1,636,800	1,712,400	3,535,200	3,535,200
総事業費 計		11,796,452	16,964,248	6,312,400	8,098,088	15,535,200
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	施設整備について差があるが、実施内容の違いによるものである。				
	2年度予算と3年度予算の比較	要望箇所、整備・更新の必要箇所については年度ごとに精査を行っているため、それによる差額である。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	管理対象の公園・施設が多く、施設が存在する以上、修繕等が永遠に続くことが課題である。
市民のニーズ・満足度	施設の整備・修繕に関しニーズは多い。
連携事業	公園事業全般
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 1 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
	下の該当番号を記入 ※複数可 2 理由等所見欄 <input type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 1 3 理由等所見欄 <input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
	目標達成度 % 理由等所見欄 上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	施設の点検結果や地元要望を受け、整備の必要性を検討したうえで実施する。
次年度予算への見直し方針	施設の老朽化状況を踏まえ、優先順位を明確にし実施したい。
関連部課等との協議状況	
関連部課	
今後の方向性	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼ 市民ニーズは高く、継続して整備を行っていく。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 2継続(現状維持) ▼
今後の方向性	3年度の取り組み方針 整備の必要性を検討したうえで実施する。
	4年度以降の展開方針 施設の点検結果や地元要望を受け、整備の必要性を十分に検討する。
部長の確認所見	施設の整備等について、施設の老朽化や地元要望等を適切に反映し、計画的に実施すること。

令和2年度 事務事業評価シート（市民サービス系）

No. 48

1 事務事業の内容 (PLAN)		<input checked="" type="checkbox"/> 投資 <input type="checkbox"/> 臨時 <input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名称	(公園施設整備事業) 都市公園安全・安心対策	担当部署	建設部 公園街路課
総合計画上の位置付け	快適・魅力ある都市空間を形成する-水とみどり豊かな都市環境をつくる-公園緑地の充実 ▼		
対象	都市公園利用者		
手段(方法)	都市公園長寿命化計画を策定し、計画に基づき公園施設の適切な維持管理、施設の更新等を実施する。		
手法(該当番号を記入)	1 <input checked="" type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金		
意図(ねらい)	都市公園長寿命化に基づく維持管理、老朽化・不良化施設の修繕や更新を行うことで、都市公園利用者に安全・安心な憩いの場を提供できるように努める。		
実施の必要性(該当番号を記入)	2 <input type="checkbox"/> 1 自治事務(任意的事業) <input checked="" type="checkbox"/> 2 自治事務(義務的事業) <input type="checkbox"/> 3 法定受託事務		
根拠法令・条例等	都市公園法		
その他実施の根拠			
始期・終期	H23 年度 ~ 年度		
到達目標(根拠数式・数値又は文章)			
単年度目標(達成状況)	30年度実績	1公園1遊具更新	達成状況 40 %
	元年度実績	4公園4遊具更新	達成状況 100 %
	2年度計画	3公園3遊具更新	達成状況 - %
	2年度実績	4公園8遊具更新	達成状況 100 %
	3年度計画	公園施設長寿命化計画見直し	達成状況 - %

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
遊具・施設等更新		1公園1遊具	4公園4遊具	3公園3遊具	4公園8遊具更新	
公園施設長寿命化計画見直し業務						1式
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
遊具・施設等更新		1,674,000	7,476,700	7,500,000	7,496,500	0
公園施設長寿命化計画見直し業務		0	0	0	0	19,000,000
赤穂城南緑地運動施設整備工事		42,120,000	71,665,560	0	0	0
財源内訳	国県支出金	11,102,000	18,898,000	3,500,000	3,500,000	9,500,000
	地方債	26,000,000	47,500,000	3,100,000	3,100,000	
	その他		11,867,560			
	一般財源	6,692,000	876,700	900,000	896,500	9,500,000
直接事業費総額		43,794,000	79,142,260	7,500,000	7,496,500	19,000,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	60	72	72	252	252
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	24	24	24	48	48
人件費総額		1,303,200	1,533,600	1,543,200	5,106,000	5,106,000
総事業費計		45,097,200	80,675,860	9,043,200	12,602,500	24,106,000
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	大規模改修工事が終了したため、総事業費が減額している。				
	2年度予算と3年度予算の比較	公園施設長寿命化計画の見直しを予定しており、実施内容が異なるため、増額している。				

3 事務事業に関する自己診断(CHECK)	
事務事業遂行上の課題	住民要望も多く、また施設が存在する限り永遠に維持管理や施設更新が必要である。
市民のニーズ・満足度	施設更新等を望む声が多い。
連携事業	赤穂市都市公園管理委託
関連事業	
対象の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 受益者は妥当である <input type="checkbox"/> 2 受益者の範囲に検討余地あり
市の関与の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 市が直接実施するように法律、法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> 2 法律、法令等では義務づけられていない ⇒⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 公共性が高く、行政以外ではサービスの提供が困難な事業 <input type="checkbox"/> 2 市民、他の自治体等でも条件整備によってサービスの提供が可能であるが、市が実施している事業 <input type="checkbox"/> 3 公共性が高いが、行政以外の団体等でサービス提供している事業 <input type="checkbox"/> 4 個人、家庭、地域、他の公共団体等で実施すべき事業、あるいはサービス提供が可能な事業 <input type="checkbox"/> 5 現在、市が実施しているが関与の必要性が低い事業、あるいは民間等でサービス提供している事業
手段の妥当性	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 法的に行政職員が行うべき事業、又は行政の専門知識・技術が必要な事業 <input type="checkbox"/> 2 他に有効な手段を考へうる事業 ⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 下の該当番号を記入 <input type="checkbox"/> 1 定型的、一般的、一時的な作業について、再任用、臨時職員等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 2 個人、家庭、地域、他の公共団体等で対応しうる可能性がある <input type="checkbox"/> 3 民間委託等で対応しうる可能性がある
事業費の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 業務の見直し等により、経済性、効率性を考慮して総コストを削減できる余地がないほどのコスト水準になっている <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部委託や経済的な手段の選択等、できる限りコスト削減の工夫をしている <input type="checkbox"/> 3 その他()
執行体制の効率性	下の該当番号を記入 ※複数可 <input type="text" value="1"/> 理由等所見欄
	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業に関する事業改善、作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 2 事業の進行管理について、確認やチェックを定期的に行っている <input type="checkbox"/> 3 現在の定数を減らした場合、大きな影響がある <input type="checkbox"/> 4 再任用、臨時職員で補完できる <input type="checkbox"/> 5 専門的な知識や技能を要する事業について、適切な研修を受ける時間が確保できている
有効性	目標達成度 <input type="text" value="100"/> % 理由等所見欄
	上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度: 下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
4 事務事業の見直し提案 一次(担当者)評価(CHECK・ACTION)	
事務事業実施による成果と課題	財源となる補助金が減少傾向のため、予定通りの事業進捗が不透明な状況である。
次年度予算への見直し方針	
関連部課等との協議状況	
関連部課	スポーツ推進課
今後の方向性	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
	国費負担に関して、兵庫県関係課と協議をし事業推進を図る。
5 二次評価 課長の評価(CHECK・ACTION)	
上位施策(総合計画の施策の展開)への貢献度	下の該当番号を記入 <input type="text" value="1"/> <input checked="" type="checkbox"/> 1 当該事業の成果が上位施策へ明確に貢献している <input type="checkbox"/> 2 上位施策の目的達成のために他の事業では代替できない単独の目標を持っている <input type="checkbox"/> 3 現在は上位施策への貢献度は大きくないが、中長期では貢献度が増加する見込みである <input type="checkbox"/> 4 その他()
	右の該当を選択 <input type="text" value="2"/> 継続(現状維持) ▼
今後の方向性	3年度の取り組み方針 公園施設長寿命化計画の見直しを行い、施設の最適な保全対策に努める。
	4年度以降の展開方針 予算等の情報収集を図り、公園施設長寿命化計画に基づく施設整備に努める。
部長の確認所見	補助金の低配当が続いているため、国の補助金の動向に留意すること。

1 事務事業の内容 (PLAN)			
事務事業名称	(公園施設整備事業) 赤穂城跡公園 施設整備外		担当部署 建設部 公園街路課
総合計画上の位置付け	学び-個性ある地域文化を創造する-歴史・伝統文化を継承し活用する-歴史資源の保全整備 ▼		
概要	赤穂城跡はほぼ完全に残る土塁や石垣をはじめ、多くの遺構を有し、史跡指定・名勝指定を受け、観光資源・市民の憩いの場として整備を進めており、平成14年度より名勝二之丸庭園の整備に着手している。		
対象	市民・観光客		
手法(該当番号を記入)	1	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい) 事前評価の考え方	市のシンボルであり、観光拠点となる赤穂城跡公園において、国の名勝指定を受けた二之丸庭園の整備を最優先とし、庭園の部分開園ができるように努める。		
成果指標	指 標 内 容	事業着手前(現状)	事業完了後(目標)
	赤穂城跡二之丸庭園整備進捗率	32%(平成21年度)	100%(令和7年度)
始期・終期	S50 年度	～	R7 年度

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容 A	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
二之丸庭園整備工事	R7		木橋5	土橋	二之丸庭園周辺	二之丸庭園周辺
二之丸庭園整備工事監理業務委託	R7		工事管理	工事管理	工事管理	工事管理
二之丸庭園実施設計業務委託	R7	木橋、西中門	西中門周辺			
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
二之丸庭園整備工事		0	21,682,100	50,500,000	15,040,000	48,730,000
二之丸庭園整備工事監理業務委託		0	3,300,000	3,450,000	0	6,150,000
二之丸庭園実施設計業務委託		4,011,120	7,810,000	0	0	0
二之丸庭園整備基本設計業務委託		4,536,000	0	0	0	0
事務費		246,896	175,518	350,000	129,682	330,000
財源内訳	国県支出金	2,000,000	15,725,000	25,000,000	7,520,000	24,855,000
	地方債	1,800,000	13,000,000	22,500,000	6,700,000	21,100,000
	その他	1,587,000	0	0	0	5,000,000
	一般財源	3,407,016	4,242,618	6,800,000	949,682	4,255,000
直接事業費 総額 B		8,794,016	32,967,618	54,300,000	15,169,682	55,210,000
人件費:人日数	一般職員:人日数	108	120	120	204	204
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数	24	24	24	24	24
人件費 総額 C		2,215,200	2,445,600	2,440,800	4,011,600	4,011,600
総事業費計		11,009,216	35,413,218	56,740,800	19,181,282	59,221,600
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	事業進捗に伴う整備内容の違いにより、減額となっている。				
	2年度予算と3年度予算の比較	事業進捗に伴う整備内容の違いにより、減額となっている。				

3 事務事業に関する自己診断・一次評価 (CHECK・ACTION)						
細事業又は実施内容	事業費の効率性 B/Aによる事業費の増減 (該当番号を記入)		執行体制の効率性 C/Aによる人件費の増減 (該当番号を記入)		有効性(進捗率)	一次評価(担当者)による評価
二之丸庭園整備工事	2	<input type="checkbox"/> 1 減少 <input checked="" type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加	2	<input type="checkbox"/> 1 減少 <input checked="" type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加	40%	土壌対策法に関する届出に日数を要し、令和2年度に完成しなかった箇所については、令和3年度に行う。
二之丸庭園整備工事管理業務委託	2	<input type="checkbox"/> 1 減少 <input checked="" type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加	2	<input type="checkbox"/> 1 減少 <input checked="" type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加	100%	工事監理においては必要な現況調査や整備委員会における資料作成業務など事業進捗に大きく前進できた。
		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		
		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		
		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		
		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		
		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		
		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		
今後の方向性	国庫補助金の動向を注意しつつ、赤穂城跡整備委員会の専門的指導を受けながら、事業の推進を図る。					

4 二次評価 課長の評価 (ACTION)	
今後の方向性	3年度の取り組み方針 全体計画に基づき、文化財担当部局の指導を受け、積極的な整備推進を図る。
今後の方向性	4年度以降の展開方針 今後の整備目処をたてるとともに、一般公開に向けての管理手法も検討を深める。
部長の確認所見	関係部局と十分に整理を行うとともに、適切な公開を行うこと。

1 事務事業の内容 (PLAN)	
事務事業名称	密集住宅市街地整備促進事業 担当部署 建設部 公園街路課
総合計画上の位置付け	快適・質の高い都市機能を整備する-良好な市街地の整備を進める-都市基盤の再構築 ▼
概要	尾崎地区市街地内指導は、幅員が狭隘なため緊急車両の進入及び宅地利用の促進が困難な状態である。そこで、防災性・住環境の向上及び宅地利用の促進のため、市道の拡幅を行うものである。
対象	尾崎地区住民
手法(該当番号を記入)	2 <input type="checkbox"/> 1 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託 <input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input type="checkbox"/> 4 補助金 <input type="checkbox"/> 5 負担金
意図(ねらい) 事前評価の考え方	防災性・住環境の向上、宅地の利用促進の観点から、公共施設・生活環境施設の整備や住宅の建て替え促進、まちなみ景観等の整備を行うものである。
成果指標	指 標 内 容
	事業着手前(現状) 事業完了後(目標)
成果指標	密集住宅市街地整備率
始期・終期	H13 年度 ~ R7 年度

2 事務事業の実施状況 (DO)						
細事業又は実施内容 A	目標値(年度)	30年度実績	元年度実績	2年度計画	2年度実績	3年度計画
老朽建築物等除却	R7			3件		
密集事業 用地買収	R7	4件		3件	1件	3件
密集事業 物件補償	R7	4件		3件	1件	3件
道路用地取得	R7	A=93.00㎡		A=174.95㎡	A=90.29㎡	A=103.16㎡
道路整備	R7	道路側溝 L=43m		道路整備 L=143m		道路整備 L=143m 道路側溝 L=57m
児童遊園整備	R7		1箇所			
設計業務外	R7					
直接事業費	単位:円	30年度決算	元年度決算	2年度予算	2年度決算	3年度予算
密集事業用地取得		4,400,448	0	8,300,000	0	11,434,601
密集事業物件補償		43,332,000	0	84,700,000	39,311,000	113,948,000
道路整備工事		2,042,280	0	16,700,000	0	18,500,000
児童遊園整備工事		0	0	69,000,000	68,197,800	0
密集事業物件移転調査業務委託外		264,600	1,758,900	23,000,000	11,138,600	10,900,000
事務費		913,322	400,817	1,100,000	558,312	500,000
財源内訳	国県支出金	24,556,000	0	81,700,000	49,599,000	74,768,000
	地方債	24,600,000	1,700,000	106,700,000	56,700,000	67,700,000
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,796,650	459,717	14,400,000	12,906,712	12,814,601
直接事業費 総額 B		50,952,650	2,159,717	202,800,000	119,205,712	155,282,601
人件費:人日数	一般職員:人日数	216	156	156	192	192
	技能職員:人日数					
	臨時職員:人日数				24	24
人件費 総額 C		4,104,000	2,964,000	2,917,200	3,787,200	3,787,200
総事業費 計		55,056,650	5,123,717	205,717,200	122,992,912	159,069,801
主な増減理由	元年度決算と2年度決算の比較	事業進捗に伴う、移転対象者及び工事範囲等の違いにより、増額となっている。				
	2年度予算と3年度予算の比較	事業進捗に伴う、移転対象者及び工事範囲等の違いにより、減額となっている。				

3 事務事業に関する自己診断・一次評価 (CHECK・ACTION)						
細事業又は実施内容	事業費の効率性 B/Aによる事業費の増減 (該当番号を記入)		執行体制の効率性 C/Aによる人件費の増減 (該当番号を記入)		有効性(進捗率)	一次評価(担当者)による評価
密集事業用地取得	2	<input type="checkbox"/> 1 減少 <input checked="" type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加	2	<input type="checkbox"/> 1 減少 <input checked="" type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加	60%	用地買収にかかる事業費については、個々の土地の価値が異なるため比較は難しい。令和2年度に買収できなかった用地については令和3年度にて買収予定。
密集事業物件補償	2	<input type="checkbox"/> 1 減少 <input checked="" type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加	2	<input type="checkbox"/> 1 減少 <input checked="" type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加	60%	物件補償にかかる事業費については、個々の物件の価値が異なるため比較は難しい。令和2年度に補償できなかった物件については令和3年度にて補償予定。
		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		
		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		
		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		
		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		
		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		
		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		<input type="checkbox"/> 1 減少 <input type="checkbox"/> 2 変化なし <input type="checkbox"/> 3 増加		
今後の方向性	早期に東西道路(尾崎3号線)の用地買収を進め、道路整備完了を目指す。					

4 二次評価 課長の評価 (ACTION)	
今後の方向性	3年度の取り組み方針 尾崎3号線の計画的な用地交渉を進め、建物除却後の側溝整備や安全対策に努める。
	4年度以降の展開方針 引き続き尾崎3号線の着実な用地買収に努める。
部長の確認所見	地元関係者団体等の密な連絡調整により、スムーズな事業進捗を図ること。交付金の動向に留意すること。